

マリメッコ・スピリッツ

2019. 7.13(土) - 10.14(月・祝)

大阪市立 東洋陶磁美術館

休館日：月曜日(ただし7月15日、8月12日、9月16日、23日、10月14日は開館)、7月16日、8月13日、9月17日、24日
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
主催：大阪市立東洋陶磁美術館、朝日新聞社
特別協力：マリメッコ、公益財団法人ギャラリー・エタウッド、公益財団法人DNP文化振興財団
企画協力：S2株式会社 後援：フィンランド大使館、フィンランドセンター
同時開催：特別展「フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア コレクション・カッコンネ」
[平常展]中国陶磁、韓国陶磁、日本陶磁、鼻煙壺

marimekko SPIRIT
FINLAND MEETS JAPAN



フィンランド・ジャパン
ミット・ジャパン

The Museum of
Oriental Ceramics,
Osaka

フィンランド陶芸

2019. 7.13(土) - 10.14(月・祝)

大阪市立 東洋陶磁美術館

休館日：月曜日(ただし7月15日、8月12日、9月16日、23日、10月14日は開館)、7月16日、8月13日、9月17日、24日
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
主催：大阪市立東洋陶磁美術館、朝日新聞社 特別協力：コレクション・カッコンネ 企画協力：S2株式会社
後援：フィンランド大使館、フィンランドセンター 協力：有限会社スコープ、アラビア、イッタラ
協賛：大日本印刷、フィンエアー、フィンエアーカーゴ
同時開催：特別展「マリメッコ・スピリッツ フィンランド・ミーツ・ジャパン」
[平常展]中国陶磁、韓国陶磁、日本陶磁、鼻煙壺

100th Anniversary of Diplomatic Relations between Japan & Finland
Power of Ceramics: Modernism in Finnish Applied Arts



芸術家たちのユートピア
Collection Kakkonen

The Museum of
Oriental Ceramics,
Osaka



ルート・ブリュック 陶板<聖体祭> 1952-1953年 アラビア製陶所 86.0×138.0
Rut Bryk Wall plaque Corpus Domini © KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2019 C2830

f i n l a n d



ミハエル・シルキン 彫像(駱駝) 1940年代 トムソム製陶所 38.0×38.0
© KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2019 C2830
Michael Schilkin Head of a camel



フリード・ホルツァー=シャルバリ (フリード・ホルツァー=シャルバリ) 1950年代 アラビア製陶所 10.0×21.2



フリード・ホルツァー=シャルバリ (フリード・ホルツァー=シャルバリ) 1950年代 アラビア製陶所 13.2×14.5



ミハエル・シルキン 彫像(熊) 1960年頃 アラビア製陶所 22.0×45.0
© KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2019 C2830
Michael Schilkin Figurine (bear)



ビルゲル・カイビアイネン 1960年代末 トムソム製陶所 56.0×78.0×11.0
Birger Kallinen Relief (guinea) © KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2019 C2830



ビルゲル・カイビアイネン 1957-1962年 トムソム製陶所 25.5×11.3



すべてコレクション・カッコネン



ビルゲル・カイビアイネン 筒花瓶 1940年代-1950年代 トムソム製陶所 44.0×7.0



ミハエル・シルキン 彫像(若い女性と熊鷹) 1940年代末期 トムソム製陶所 48.0×15.0

フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア Collection Kakkonen

フィンランドでは、アーツ・アンド・クラフツ運動の影響を受けたアルフレッド・ウィリアム・フィンチ(1854-1930)などによって工芸教育の基礎が築かれました。1932年に設立されたアラビア製陶所の美術部門では、設備の整った環境で作家の自由な創作活動が認められ、動物の陶彫作品で知られるミハエル・シルキン(1900-1962)など、数々の傑作が生まれます。ビルゲル・カイビアイネン(1915-1988)やルート・ブリュック(1916-1999)などの色彩豊かで物語性のある陶板や造形的な作品は、国内外で人気を博しました。彼らを含むアラビア製陶所の作家が多数出品した1951年のミラノ・トリエンナーレでは、複数のグランプリを受賞し、フィンランド陶芸が世界に知れ渡る契機となりました。本展はキュオスティ・カッコネン氏の所蔵作品から、約130件によりフィンランド陶芸の豊かな世界をご紹介します。



フリード・ホルツァー=シャルバリ ポウル 1950年代 アラビア製陶所 4.5×7.4



ビルゲル・カイビアイネン 陶板(祈り) 1945年頃 トムソム製陶所 40.5×40.5
Birger Kallinen Wall plaque Blessing © KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2019 C2830

特別展

特別展

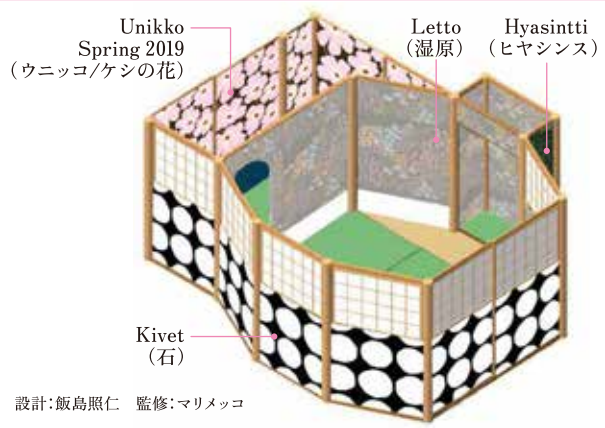
マリメッコ・スピリッツ

フィンランド・ミーツ・ジャパン

テキスタイル・ブランドとして知られるマリメッコは、アルミ・ラティア(1912-1979)により1951年に創業されました。第二次世界大戦後の困難な時代に登場した、鮮やかな色彩と力強くユニークなテキスタイルは、それまでのフィンランドには見られないデザインでした。本展では、現在マリメッコで活躍する3名のデザイナーにより「JAPAN」をテーマとした新作パターンと、制作過程をご紹介します。また会場内には、マリメッコデザイン監修により、大阪会場のために全く新しいお茶室が設計されます。フィンランドと日本とが出会い、現代のお互いの文化を受け入れて生まれた創造的な空間を体感してください。

marimekko

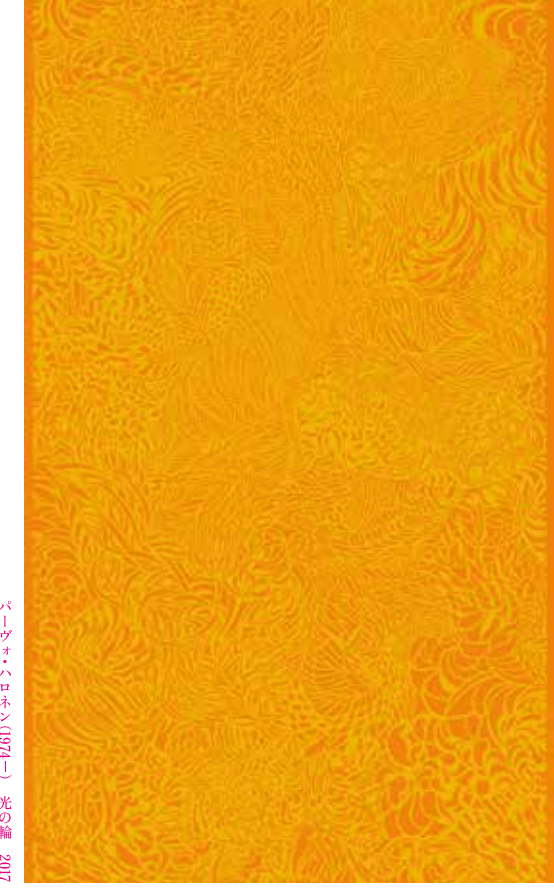
大阪での展覧会のために新しく設計されたお茶室は、草庵の茶室の様式を踏襲しながらも、マリメッコのファブリックによりこれまでにない空間となりました。本茶室は、マリメッコと対話をしながら、現代まで息づくお互いの文化に共感を寄せ合い共同制作されたものです。円に近い八角形のお茶室は、ここに集う人々のフラットな関係を表現しています。本展限りのこの空間をお見逃しなく！



全館撮影OK!
#marimekkospirit
#フィンランド陶芸



マイヤ・ハロネン(1974-) 光の輪 2017



マイヤ・ハロネン(1974-) 光の輪 2017



マイヤ・ハロネン(1974-) 光の輪 2017

記念講演会「茶室の美 伝統(利休)と創造(マリメッコ)」

講師:飯島照仁氏(茶室建築家)
日時:2019年7月21日(日)
午後0時30分から午後2時
午後2時から午後3時30分
定員:70名 事前申込制
申込締切:7月5日(金)必着
場所:大阪市立東洋陶磁美術館
参加費:無料(ただし入館券が必要)

マリメッコ監修のお茶室で聴講者に呈茶をおこないます
講堂にてご講演

お申込み方法とご注意

- ◇メールの場合 お申込メールアドレス(moco_event@moco.or.jp)に氏名・電話番号・参加ご希望人数(2名まで)を明記の上お送りください。
- ◇往復はがきの場合 往復はがきに住所・氏名・電話番号・参加ご希望人数(2名まで)を明記の上、東洋陶磁美術館学芸課までご郵送ください。

応募者多数の場合は抽選になります。お申込みの際にご提出いただく個人情報厳重に管理し、本事業の実施ならびに事務連絡以外には使用いたしません。その他イベントの詳細は決まり次第当館ホームページ(<http://www.moco.or.jp>)にて随時お知らせします。

入館料

一般 1,200円(1,000)
高大生 700円(600)

()内は20名以上の団体料金
中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(証明書等提示)



大阪市立東洋陶磁美術館
The Museum of Oriental Ceramics, Osaka
大阪市区中之島1-26(大阪市中央公会堂東側)
京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ
Osaka Metro御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」
Osaka Metro堺筋線・京阪本線「北浜」各駅から約400m
問い合わせ:大阪市立東洋陶磁美術館
電話:06-6223-0055
ウェブサイト:<http://www.moco.or.jp>
Instagram:@moco_press

